

平成 29 年度 公益財団法人江副記念財団 事業計画書

(自平成 29 年 4 月 1 日 至平成 30 年 3 月 31 日)

1. 事業方針

公益法人としての社会的使命を果たすため、学術や芸術、スポーツの領域で世界を舞台に活躍することが期待される若者を支援する。

これらの支援を通じて将来、世界で活躍する人材が各分野に存在する状態を目指していく。

支援における基本的な考えは「世界で活躍できる人材」「日本国内に留まらず世界へ飛び出して活動」「次世代を担う人材」であることとし、特定の分野に特化することなく、学術、芸術、スポーツの分野でそれぞれ特徴のある支援体制を構築していく。

上記の実現に向けて平成 29 年度は以下の 2 点を推進する。

・奨学生人数の拡大

平成 28 年度は 38 名の奨学生に対して奨学金の給付を行ってきたが、平成 29 年度も引き続き各領域での奨学生人数の拡大を進める。

・助成金事業の拡充

助成金事業についても前年度からの増加を目指す。

また、平成 28 年度に行った 45 周年記念事業について、クリエイティブ・学術領域の事業は実施時期の見直しにより、平成 29 年度中の実施とし、クリエイティブおよび学術の領域における奨学生および奨学生であった者たちの成果発表の機会の提供を行い、支援体制の充実を図る。

2. 事業計画

(当財団は公益目的事業 1 (学術、芸術、スポーツの分野における人材育成のための奨学援助・助成事業) のみであり、以下の事業計画は全て公益目的事業 1 に属するものである)

(1) 奨学金給付事業

平成 29 年度は下記の領域を対象に奨学金の給付を行う。

給付期間は各領域とも1年間とし、選考委員会による審査結果の答申を受け、理事会にて決定する。

【対象領域】

音楽	ピアノ、ヴァイオリン、チェロの演奏に秀で、海外での研鑽を目指すもの。
現代アート	現代アートの技術に優れ、海外での研鑽を目指すもの。
スポーツ	競技成績が優秀で、2020年のオリンピックでの活躍が期待される高校生・大学生年代のアスリート。 平成29年度は以下の競技を対象とする。 ボート、ウェイトリフティング、アーチェリー、ボクシング、トライアスロン、カヌー、トランポリン、ライフル射撃、セーリング、自転車競技、バドミントン、バスケットボール、ホッケー、テニス、陸上競技、ハンドボール、フェンシング、ラグビーフットボール、卓球、バレーボール
学術	人格に優れ、海外の世界的な研究機関、教育機関での学びの機会を目指すもの。

【計画人数と計画金額】

(単位: 人・千円)

		平成28年度	平成29年度		(参考)平成30年度		(参考)平成31年度	
		見込み	人数・予算	前年比	計画	前年比	計画	前年比
音楽	人数	14	12	85.7%	12	100.0%	12	100.0%
	金額	43,000	37,500	87.2%	37,500	100.0%	37,500	100.0%
現代アート	人数	1	3	300.0%	3	100.0%	3	100.0%
	金額	1,750	8,700	497.1%	9,000	103.4%	9,000	100.0%
スポーツ	人数	14	15	107.1%	15	100.0%	15	100.0%
	金額	34,750	36,000	103.6%	36,000	100.0%	36,000	100.0%
学術	人数	9	15	166.7%	20	133.3%	20	100.0%
	金額	23,750	43,500	183.2%	58,500	134.5%	60,000	102.6%
合計	人数	38	45	118.4%	50	111.1%	50	100.0%
	金額	103,250	125,700	121.7%	141,000	112.2%	142,500	101.1%

【付随事業】

(奨学生募集および選考: 14,000千円)

奨学生採用の為の募集広報活動、および選考委員会の実施、選考委員への報酬等。

(成果発表会：6,000 千円)

奨学生の日頃の研鑽の成果を発表する成果発表会を開催する。
平成 29 年度は 12 月 16 日（土）に紀尾井ホールにて開催予定。

(入学卒業祝賀会：2,800 千円)

平成 29 年度の奨学生の認定証の授与式、ならびに奨学金給付が終了した奨学生に対する記念品授与式の開催。
平成 29 年度は 7 月に開催予定。
奨学生（新規および更新）、理事、評議員、選考委員、財団関係者にも出席を呼びかけ親交を深める機会とする。

(広報活動①機関誌の発行：1,000 千円)

機関誌「軽気球」の発行。
現役奨学生および国内外の OBOG からのメッセージを掲載し、現役奨学生に対する応援喚起や交流の促進を図るため、全奨学生・奨学生 OBOG・財団関係者に配布する。

(広報活動②ホームページ、SNS での広報：1,800 千円)

財団のホームページ、およびフェイスブック等の SNS メディアを通じて現役奨学生の活動を紹介し、奨学生同士の交流促進、奨学生に対する応援喚起を行う。

(45 周年記念事業：17,900 千円)

当財団発足 45 周年を記念し、クリエイティブ部門および学術部門の奨学生および奨学生であったものたちによる展示イベントを行う。
開催時期は平成 30 年 3 月を予定。

(その他の事業：400 千円)

公益法人協会への会費等。

(2) 助成金給付事業

『音楽領域』『スポーツ領域』『学術領域』の3領域を対象に、助成金の給付事業を行う。

助成の選考は以下の事業に対して公募を行い、選考委員会による審査結果の答申を受け、理事会にて決定する。

- ・国内大会・コンクールへの助成
- ・人材育成を目的とした研修等の活動を行う団体等に対する助成
- ・学術、芸術、スポーツに秀で、国内外で活動し研鑽を積む者に対する助成

【計画金額】

(単位: 千円)

	平成28年度 見込み	平成29年度		(参考)平成30年度		(参考)平成31年度	
		予算	前年比	計画	前年比	計画	前年比
音楽	2,500	9,000	360.0%	9,000	100.0%	9,000	100.0%
スポーツ	30,000	30,000	100.0%	30,000	100.0%	30,000	100.0%
学術	20,000	30,000	150.0%	30,000	100.0%	30,000	100.0%
合計	52,500	69,000	131.4%	69,000	100.0%	69,000	100.0%

以 上